

# 郷うこん修の ホットライン

HPは検索して下さい。 郷右近 修

NO. 604

発行：日本共産党豊明市委員会

2020. 4. 9

連絡先：☎97-0842

Eメール：qi g ja681@ybb. ne. jp



## 自動車の後付け誤操作防止装置に補助決定！

3月議会最終日に令和2年度の補正予算案が提出され、自動車に後付けする誤操作防止装置の購入・取り付けに補助金が出ることが決まりました。

### ◆市内在住の65歳以上の人を対象

補助制度は高齢ドライバーが運転操作を誤って交通事故を起こすことを防止するのが狙いで、既存の自動車に安全装置（急加速抑制装置）の後付けを促進するもの。

対象者は市内在住の65歳以上（年度内に65歳になる人も）で、国土交通省の性能認定を受けた装置の購入・取り付けが条件になります。

### ◆補助割合は9割！

気になる費用の補助割合は9割（本人負担は1割だけ）と、極めて高い補助率です。懐が厳しい高齢者が対象という制度の趣旨から考えても納得がゆきます。

車のメーカー、車種によって取り付ける装置の種類も金額も変わりますが、本人負担が1割であることは変わりません。安心して活用ができるのではないのでしょうか。

### ◆共産党は昨年的一般質問で

#### 補助制度を求めました

昨年の夏に高齢の市民の方からの要望を聞き、日本共産

党は市議会でのこの装置の補助制度を実施してほしいと9月議会で提案しました。受け付ける件数は月に20台、12か月分で240件を想定した予算となっていますが、自動車の運転が生活に必要な高齢の方の不安が解消され、交通安全が守られるようになってほしい。今後は希望する方全員が受けられるように予算措置を求めます。

## 補助の内容

8万円かかる装置の場合（障害物検知あり）

国から事業者へ支払われる分

4万円

個人が事業者へ支払う分

市の補助 3万2千円（上限）

※この内、県補助が半分

本人負担 8000円

## LGBTパートナーシップ証明書と 証明カードを発行へ

3月23日の全員協議会で小浮市長がLGBTパートナーシップ宣誓制度を実施する方針を明らかにしました。

豊明市は2017年にLGBT共に生きる宣言を発し、職員や議員の研修を実施するなど、性的マイノリティーの方への理解が進むよう取り組んでいましたが、住宅を借りる時などに活用が期待できるこの制度の運用で、更に多様性を認める社会に一步近づくとと言えます。先駆的でよい事業だと思えます。

日本共産党は社会のハラスメントや差別をなくすことを政策に据えて活動しています。また、昨年の道府県議選（51%）と政令市議選（52%）で女性議員の割合がトップになるなど、議会での男女共同参画を進めています。これからも一人一人が大切にされる社会の実現を目指します。

※右は昨年の名古屋レインボーパレードに参加した時の写真です。もとむら伸子（衆議院議員）さんも手作りの虹を持って参加しました。



# 比例は共産党

**日本共産党** Japanese Communist Party